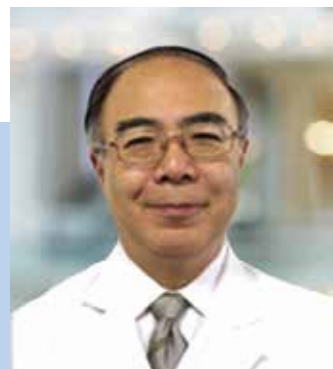


「安心して病院に掛かって頂くために」 ～患者さんと作る安心で安全な医療～

東京医科大学病院 脳神経外科教授 三木保氏が登壇。

医療を提供する立場から医療事故を「ゼロ」にすることはできない、絶対の安全はない、大学病院として「安全文化」を習慣とすることが安全文化の構築につながる」と述べられた。医療事故を予防する努力は医療者だけでは足りず、患者が加わって安全な医療の提供ができるとも述べられた。また、患者として不安がある、おかしいと思ったりするときは必ず声に出すことが必要と述べられた。「お任せ医療ではいけないこと」「自分がどう生きたいのか、自分なりの考えを持つこと」「疑問があれば医師、看護師等にいつでも聞いていい」との意見が参加者から上がった。



東京医科大学病院
脳神経外科教授 三木 保

